

福島市働く女性応援認証企業 ファイル (Vol. 9)

本市では、男女共に働きやすい職場環境づくりなどを積極的に行う中小企業を認証しています。
このコーナーでは、認証企業にスポットをあて、その取り組みをご紹介します。



▲ウェブ課の女性社員

【会社概要】

所在地：福島市山下町

設立：昭和60年12月

資本金：1億円

社員数：34人

採用実績：令和5年度7人

(うち女性3人)

主要事業：ウェブサイト制作・運用
情報インフラ構築・運用

連絡先：☎524-1188

■問／産業雇用政策課
☎515-7746

**時間の使い方は自分次第！
ともに成長・進化する会社へ**

(株)インフォメーション・ネットワーク福島は、自治体のウェブサイトの制作で県内No.1の企業です。デザイナーからITエンジニアまでさまざまな職種の社員が、一丸となって働いています。

時間単位での有給休暇の取得や、シフト勤務を取り入れた自由度の高い働き方ができます。育児休暇の取得促進や扶養に関わらない子ども手当の支給など、積極的に子育て支援にも取り組んでいます。

クローズアップ

女性社員に聞きました！

👉 我が社のここが働きやすい！

子どもの行事での有給休暇や、子どもが急に熱を出した場合は時間休が使えるため、子育てしながら働きやすい環境です。産後復帰時は時短勤務を活用し、子どもの成長に合わせた就業ができます。

👉 我が社の良いところ

教育体制が整っているところです。先輩社員に教わりながら、無理のないペースで業務を進めることができるので、安心して働けます。



ウェブ課所属
小川さん(入社4年目) 右
伊藤さん(入社1年目) 左

INF (株)インフォメーション・ネットワーク福島



We Love♥
ふくしま！

第70回 「まちなかの記憶」

今年のゴールデンウィーク(GW)は暑かった。特に5月5日は最高33度の暑さ。日差しがきついまちなかで体調を崩す人が出ないか、気が気でありませんでした。

この日に行われていたのは「まちなかこどもの日」。「こども

のえがおあふれるまち」を目指す福島市が「こどものえがお」のために企画したイベントです。

おなじみの縁日や露店、ふわふわ遊具などに加え、アンパンマンショー、バランスアスレチック、路上でのお絵かき、ミニS、動物とのふれあい、木工やデジタルのワークショップ。さらには、赤・青のメロディーバスの無料乗車、日本一「こうくん」のご当地おむす美配布など盛りだくさんの内容。今回、秋開催からこどもの日に移し、こいのぼりも掲げて、こどもたちのための祭りに仕立てました。

4万8千人もの人が詰めかけ、こどもたちの笑顔があふれました。

このイベントの狙いは他にもあります。一つは、地域全体でこどもたちを大切にする気運を高めること。まちなかの施設やお店でも、こどもの日ならではの企画やキッズランチを用意し、風船をプレゼントしました。

もう一つは、まちなかの賑わ

いづくり。同様にGW開催に移行した「結・ゆい・フェスタ」といい、これまでは閑散としていたGWのまちなかが大勢の人で賑わいました。普段は休業する商店街にもお店を開けていただきました。

ただ、「今の賑わいだけが目的ではありません。私の世代以上の人間にとって、まちなかは憧れの場所。デパート屋上の遊園地で遊んだ良き思い出はいまもイメージとなって刷り込まれ、まちなかへと足を向けさせるのです。今のこどもたちには、親の世代も含めて、まちなかでの楽しい思い出はあまりないと思います。こどもの頃から「まちなかは楽しいところ」とのイメージをもつて、将来にわたってまちなかに来てほしいのです。

人気のロードトレインは、まちなか高原列車の名で「高原列車は行く」を流しながら走りまわります。明るい古関メロディーとともに、福島市のまちなかの楽しい記憶、ふるさとへの郷愁につながることを願っています。

まちなかは厳しい状況が続きます。楽しい思い出が、みんなに生まれるまちなかにしていきたいものです。



福島市長 木幡 浩